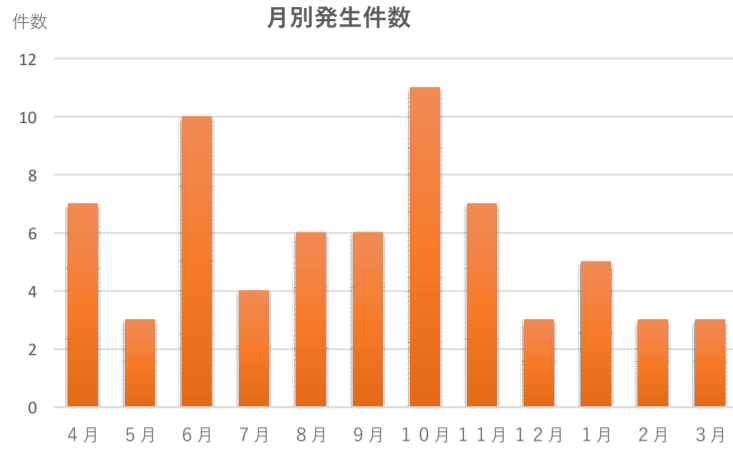


令和6年度介護サービス事業者等における事故報告（集計）について

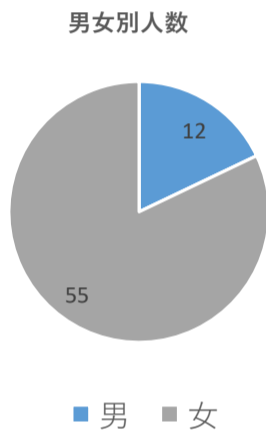
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	7	3	10	4	6	6	11	7	3	5	3	3	68



・令和6年度に市へ報告のあった事故報告書は**68件**となっています。発生月では、10月が11件と最も多く、次いで6月が10件となっています。

・男女別人数

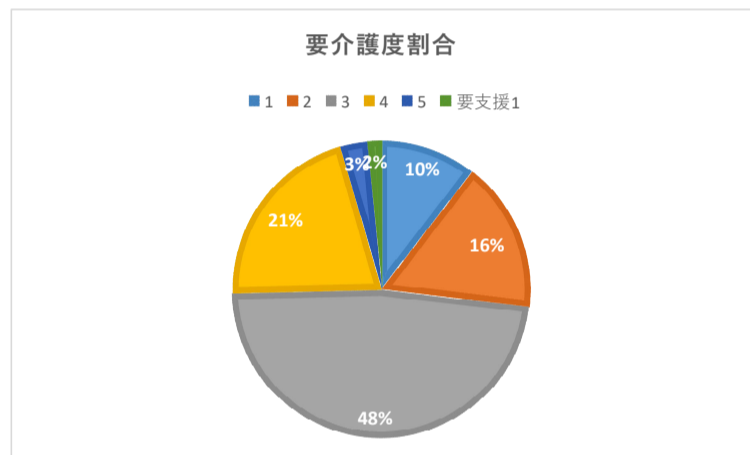
性別	男	女
人数	12	55



・男女別では、**女性の利用者が大半（85%）**を占めています。

・要介護度

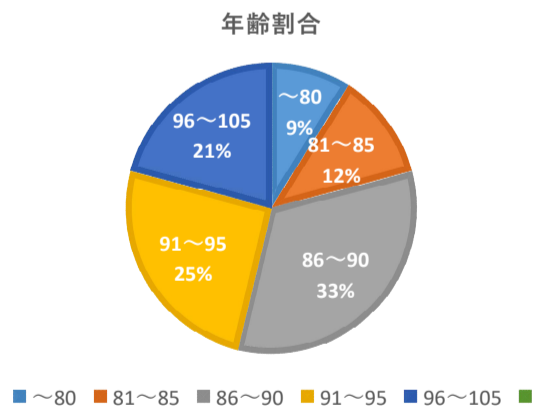
介護度	1	2	3	4	5	要支援1
人数	7	11	32	14	2	1



・要介護度別では、**要介護3が全体の約半数（48%）**を占めています。

・年齢割合

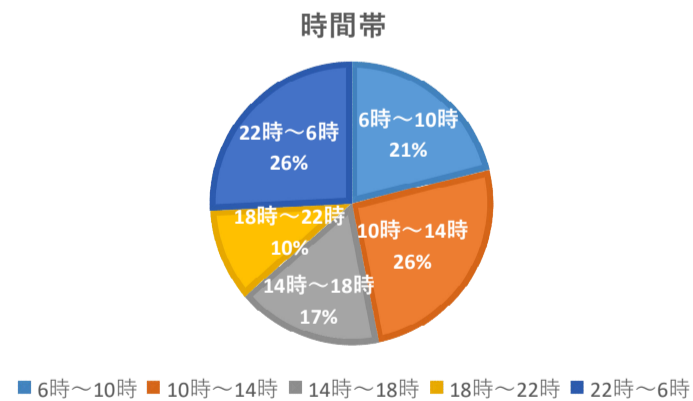
年齢	～80	81～85	86～90	91～95	96～105
人数	6	8	22	17	14



・年齢別では、**86歳から95歳までの利用者が半数以上（58%）**を占めています。

・発生時間

時間帯	6時～10時	10時～14時	14時～18時	18時～22時	22時～6時
件数	14	17	11	7	17

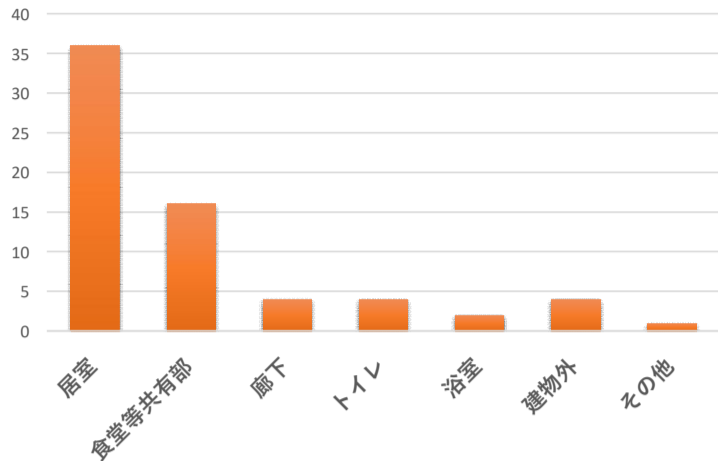


・事故発生の時間帯は、**朝食・昼食時が31件（47%）**、次いで、**22～6時が17件（26%）**となっています。**事故の半数近くが食事の時間帯に発生**しており、夜間は「一人でトイレに行こうとして転倒する事例」が多く発生しています。

・発生場所

発生場所	居室	食堂等共有部	廊下	トイレ	浴室	建物外	その他
件数	36	16	4	4	2	4	1

発生場所別件数

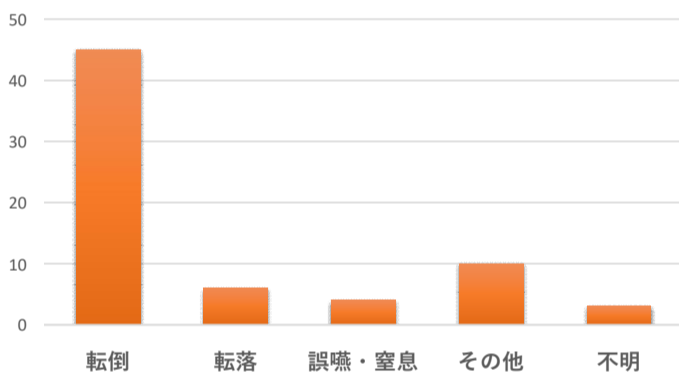


・事故の主な発生場所は、**居室が約半数（52%）**を占めています。

・事故の原因

原因	転倒	転落	誤嚥・窒息	その他	不明
件数	45	6	4	10	3

事故の原因件数

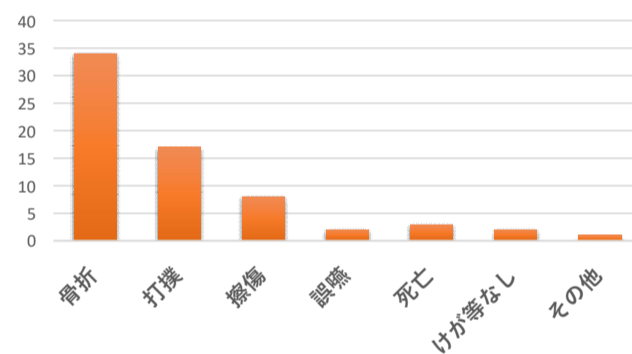


・事故発生の原因は、**転倒が半数以上（66%）**を占めています。これらの多くは、職員の付き添いが無い時に発生しています。

・事故の結果

結果	骨折	打撲	擦傷	誤嚥	死亡	けが等なし	その他
件数	34	17	8	2	3	2	1

事故の結果件数



・事故の結果は、**骨折が半数（50%）**を占めています。死亡の内容としては、「離設による行方不明で発見時死亡確認」「嘔吐による窒息」となっています。

・事故の原因×発生場所

	居室	食堂等共有部	トイレ	廊下	浴室	施設敷地内の建物外	敷地外	その他	不明	総計
転倒	24	11	4	4	1	1				45
転落	5					1				6
誤嚥・窒息	2	2								4
その他	3	3				1	2	1		10
不明	2								1	3
総計	36	15	4	4	2	2	2	1	1	68

事故の原因と発生場所をクロス計算したものです。**事故の半数（52%）は居室で発生**しており、転倒は居室や食堂共有部で多く発生していることがわかります。

・事故の原因×事故の結果

	骨折	打撲	擦傷	死亡	誤嚥性肺炎	なし	不明	情報漏洩	総計
転倒	26	13	5			1			45
転落	1	4	1						6
誤嚥・窒息				2	2				4
その他	4		2	1		1	1	1	10
不明	3								3
総計	34	17	8	3	2	2	1	1	68

事故の原因と事故の結果をクロス計算したものです。**骨折のうち、「転倒による骨折」が大半（76%）を占めている**ことから、高齢者の転倒は、骨折や打撲のリスクが高いことがわかります。高齢者の誤嚥は、誤嚥性肺炎や窒息を引き起こすリスクがあり、死亡に至る可能性が高いことがわかります。